

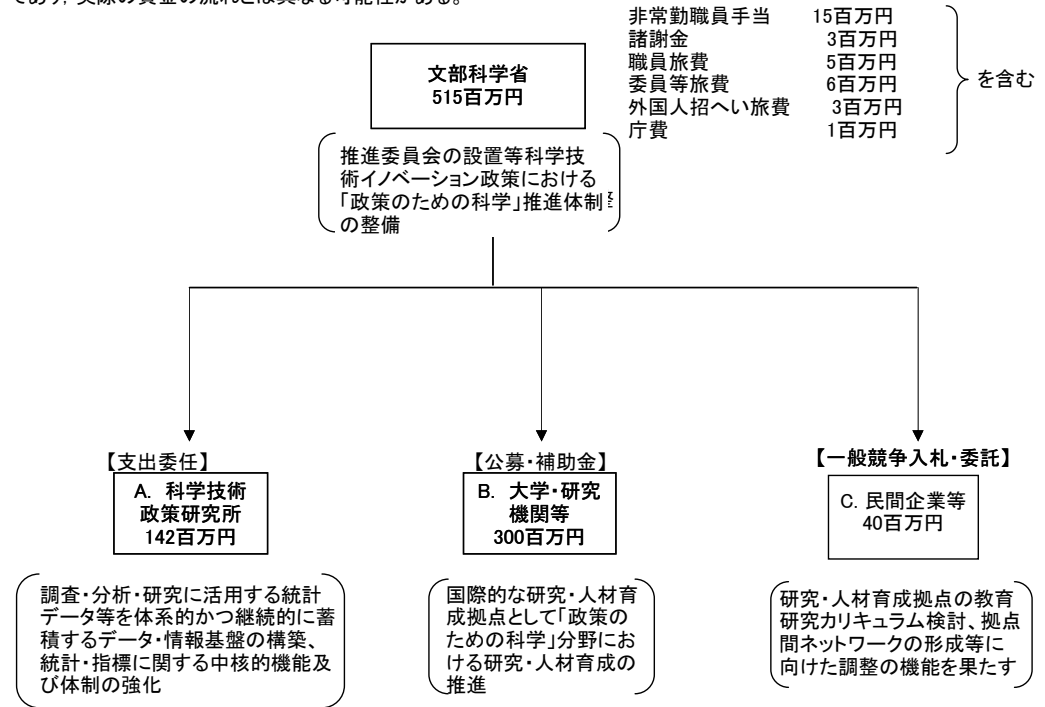
平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

事業名	科学技術イノベーション政策における政策のための科学の推進		担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者	
事業開始・終了(予定)年度	平成23年度		担当課室	計画官付		計画官	阿蘇隆之
会計区分	一般会計		施策名	VII-3. 科学技術システム改革の先導			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	第4期科学技術基本計画(平成23年8月閣議決定)			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	経済・社会等の状況を多面的な視点から把握・分析した上で、課題解決等に向けた有効な政策を立案する「客観的根拠に基づく政策形成」の実現に向け、科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」のための体制・基盤の整備、研究の推進及び人材の育成を行う。						
事業概要(5行程度以内。別添可)	①推進委員会の設置等「政策のための科学」推進体制の整備。 ②科学技術イノベーション政策形成及び調査・分析・研究に活用するデータ等を体系的かつ継続的に蓄積していくためのデータ・情報基盤の構築。 ③大学院を中核とした国際的水準の基盤的研究・人材育成拠点の構築を通じた研究・人材育成の推進。						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算				515	626
		繰越し等				0	
		計				515	626
	執行額						
	執行率(%)						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	課題解決等に向けた有効な政策を立案する「客観的根拠に基づく政策形成」の実現を目的とする本事業は、科学技術政策立案の基盤構築を目指すものであり、数値で定量的に示される成果目標を設定することは困難である。	成果実績					
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	・フォーラム・シンポジウムへの参加者数 ・人材育成拠点等における論文数 ・データ・情報基盤へ投入されたデータ・情報の量	活動実績(当初見込み)					①「客観的根拠に基づく政策形成」の推進 ②中核機能の強化及び運用(データの集中整備期間開始) ③研究・人材育成拠点の整備
単位当たりコスト	(円/)		算出根拠				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	非常勤職員手当	24百万円	26百万円	政策のための科学分野における研究・人材育成拠点の形成の取組において、拠点間共同プログラムの開発及び展開を行うことによる増、政策のための科学の適切な推進のために必要な調査・分析を拡充することによる増及びデータ・情報基盤の整備の本格化による増等が主な増理由である。その一方、必要な会議(ワーキングチーム)の開催回数の精査や出張先及び出張回数を見直したこと等による合理化・効率化による減を行っている。			
	諸謝金	4百万円	3百万円				
	職員旅費	14百万円	6百万円				
	委員等旅費	7百万円	6百万円				
	外国人招へい旅費	3百万円	3百万円				
	庁費	19百万円	21百万円				
	情報処理業務庁費	3百万円	4百万円				
	電子計算機等借料	-	8百万円				
	招へい外国人滞在旅費	-	0.2百万円				
	科学技術調査資料作成委託費	100百万円	98百万円				
	科学技術総合研究委託費	40百万円	60百万円				
政策立案人材育成等拠点形成事業費補助金	300百万円	390百万円					
計	515百万円	626百万円	※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	他事業に係る行政事業レビューや事業仕分けの指摘事項等を踏まえ、効果的・効率的な事業運営を行っている。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	本事業は、執行面における課題もなく、事業の成果目標も立てられていることから、適切な事業と認められる。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A. 科学技術政策研究所			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
科学技術調査資料作成委託費	関連データの整理・突合	100			
庁費	中核データベースの構築及び科学技術イノベーション指標の国際比較性調査に必要な雑役務	18			
非常勤職員手当	技術参与(分析データ研究・構築担当、システムアドミニストレータ)	10			
職員旅費	中核データベースの構築のための調査	9			
情報処理業務庁費	データ入力・チェック	3			
委員等旅費	関係機関との連絡・調整・データ提供、検討会への出席	2			
諸謝金	関係機関との連絡調整における視察・意見交換、検討会への出席	1			
計		142	計		0
B. 大学・研究機関等			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
拠点形成事業費補助金	政策のための科学分野における研究・人材育成拠点の形成	300			
計		300	計		0
C. 民間企業等			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
科学技術総合研究委託費	研究・人材育成拠点の教育研究カリキュラム検討、拠点間ネットワークの形成等	40			
計		40	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

※表示単位未満四捨五入の関係で、積み上げと合計は一致しない。